埼玉自動車大学校版

〒362-0806
北足立郡伊奈町
小室1123番地
048(723)5522

スポーツフェスティバル2018

スポーツフェスティバル2018を9月28日、上尾運動陸上競技場で開催した。

天候にも恵まれ、開会式では金子校長から「コミュニケーションをとり、クラス団結して頑張ってください」と、激励があり、その後、自動車車体整備科の上田知華さんの選手宣誓で競技が始まった。

競技はクラス対抗戦で行われ、個人種目から団体種目まで様々な種目が用意された。各種目の順位毎にポイントが加算され、最終的な獲得ポイント数の多いクラスが優勝となるため、学生たちは担任からの大きな声援とクラス、学年の垣根を越えた応援を受け、全力で競技していた。

成績は次の通り

優　勝　一級自動車整備科　1年B組
準優勝　一級自動車整備科　2年A組
第3位　一級自動車整備科　4年B組

軟式野球部大会結果報告
～全国大会出場決まる～

全国専門学校軟式野球大会北関東地区埼玉県予選大会が9月5日に鴻巣市フラワースタジアムで行われた。順調に勝ち進み、決勝戦は大原簿記情報ビジネス専門学校大宮校と対戦し優勝を飾り、埼玉県代表として北関東大会出場を決めた。

北関東大会は9月13日に群馬県のいずみ総合公園町民野球場で行われた。本校は県予選の勢いそのままに決勝戦まで進み、再度、大原簿記情報ビジネス専門学校大宮校と対戦した。2回に先制点を奪ったが5回に逆転され、本校は最後まで粘りを見せたが、4対5で惜しくも敗れ準優勝となった。

北関東ブロックからは、代表2校が全国大会への出場権利を与えられ、岡山県で11月26日からの、全国専門学校軟式野球選手権大会に出場が決まった。

また、9月17日に北本総合公園野球場で『トヨタカローラ埼玉杯争奪　自動車大学校交流野球大会』に出場した。初戦はトヨタ東京自動車大学校と対戦、5対2で勝利し決勝戦に進んだ。決勝戦は群馬自動車大学校と対戦し、最終回まで1点差を追いかける展開だったが逆転サヨナラ勝ちを収め、記念すべき第1回大会を優勝で飾った。

スバルレヴォーグ　贈呈

㈱SUBARU様から教材として、スバル「レヴォーグ」1台が9月13日に寄贈され、その贈呈式を行った。この車両はスバル独自の最新システム「アイサイト」を搭載しており、今後の実習授業で活用して行く。

モータースポーツ科
86／BRZ レース第8戦出場
観戦ツアーも実施

モータースポーツ科は9月22日・23日、ツインリンクもてぎで開催された86BRZレース第8戦に参戦した。

予選前日の専有走行にて足廻りのセッティングを煮詰め土曜日の予選に臨んだが、悪天候も影響し思うようにタイヤの内圧が上がらず苦戦、予選は36台中31位、決勝では31番手からスタートして25位でゴールした。次回最終戦となる鈴鹿では更に上位を狙っていく。

また、23日には同時開催のピレリスーパー耐久シリーズ第5戦の観戦ツアーを実施。在校生のほか高校生も参加し、初めてレースを観戦する生徒も複数おり笑顔でレースを楽しんで、充実したレース観戦となった。

次世代自動車支援センター埼玉から依頼
新型日産リーフ分解研究会

次世代自動車支援センター埼玉が主催する車両分解研究会の発足会が本校で行われ、その一環として新型日産リーフの分解作業を一級自動車整備科の3年生が9月6日、7日の2日間にわたり行った。

作業1日目は、バッテリーパックやモーターなどの大物部品の取り外しを行った。多くの研究会参加企業とオートメカニック誌のカメラマンが見守る中で、緊張と初めて取り扱う車両に手こずるところもあったが、前後のドア、サスペンション、電動式のパワーステアリングなどの大物部品を車両から降ろすまで、今まで学んだ技術や知識を活かし無事に終了した。

作業2日目は、1日目に取り外したバッテリーパックとモーターを分解、さらに、エンジンルーム内の小部品の取り外しと、それぞれ分かれての作業となった。作業中に多くのフラッシュがたかれ、注目の高さが見てとれた。

作業を終えた学生たちは「この貴重な体験は将来必ず役に立つと思います」と、満足した表情で話していた。

なお、今回分解された部品は、ボディとともに埼玉県産業技術総合センター（川口市スキップシティ内）に展示されている。